

お知らせ

二月例会

・期日 立教179年2月25日
 ・時間 15時半受付、16時開始
 ・場所 教庁4階講堂

学生層育成者講習会

日程・会場案内

【教区】
 ・神奈川 2月2日11時30分〜 教務支庁
 ・和歌山 2月27日10時〜 教務支庁

【直属】

・中央 2月18日12時〜 大教会
 ・東中央 2月19日14時30分〜 大教会
 ・松阪 2月20日12時〜 大教会
 ・河原町 2月21日18時15分〜 大教会
 ・笠岡 2月21日12時〜 大教会
 ・朝倉 2月22日11時〜 大教会
 ・仙臺 2月22日12時〜 大教会
 ・双名島 2月22日11時30分〜 大教会
 ・大原 2月22日13時〜 大教会
 ・越乃國 2月23日12時20分〜 大教会
 ・生野 2月23日12時〜 大教会
 ・愛知 2月23日11時30分〜 大教会
 ・中和 2月24日10時〜 大教会

報告

十二月例会

去る12月25日、教庁4階講堂に於いて「十二月例会」を開催。出席は36教区、99直属。

各地の動き

【直属学生層育成者講習会】

・高岡 12月19日 大教会 240名
 ・城法 12月23日 大教会 250名
 ・大江 12月23日 大教会 160名
 吉川委員長出向
 飯降委員出向

人事

《立教178年12月25日》

【直属学生担当委員長辞令交付】

・岡本孝雄（旭日）

業務記録

《立教178年12月16日〜立教179年1月15日》
 12月16日 教祖130年祭 学生おぢばがえり
 大会プロジェクトチーム会議

18日 ビデオチーム会議
 事務局連絡会
 19日 屋内プログラムチーム会議
 直属学生リーダー講習会（〜20日）
 21日 『Theapist』納品
 22日 『Theapist』梱包
 23日 教区学生リーダーの集い（〜25日）
 委員会
 例会 広報室会議
 〈屋内〉まなびば部員・

本部スタッフ研修会
 担当者活動部部会 出版部部会
 おせち学生ひのきしん隊（〜7日）
 1月4日 学修部部会
 5日 学修部部会
 6日 学修高校卒業生コース会議
 8日 委員会 まなびば研究室会議
 担当者活動部部会
 9日 学修大学の部研究室会議
 学修部部会
 13日 ビデオチーム会議
 14日 教祖130年祭 学生おぢばがえり
 大会プロジェクトチーム会議
 屋外プログラムチーム会議
 学生部部会
 出版部部会

学生担当者報

- Vol.348 -

発行/天理教学生担当委員会 発行責任者/吉川万寿彦 編集責任者/松村孝吉
 [TEL]0743-63-1511 (内線5817) (直通) 0743-63-2489 [FAX]0743-62-5780
 [E-Mail]tsa@tenrikyo.or.jp [TSA website]http://tsa.tenrikyo.or.jp

立教179年
 平成28年1月25日発行

自ら求める心を培う一週間



「学生生徒修養の部」まで残りわずかとまりました。学修は一週間にわたって教えを学び、ひのきしんやに、をいがけを實踐し、仲間と互いの喜びや苦しみを共有できる素晴らしい機会です。今年も教祖百三十年祭の年ということ、三月二十八日には一万人の動員目標をもって「教祖百三十年祭学生おぢばがえり大会」も開催されます。どちらも次代へ道をつなげるための大切な行事です。

私はよく、「若い人になかなか教えが伝わらない」という場面に出会います。その若い人たちの多くは、小さな頃から教祖の教えに触れてきた

人たちが、心のどこかでお道に繋がらなければならぬと思っと思っています。しかし、周りに信仰を持った人がいても、お道の有難さが伝わらないのはどうしてなのでしょう。理由はさまざま考えられますが、一つには、日本の社会が豊かになったことで、信仰を必要だと感じない人が増えたせいかもしれません。しかし、それよりも大きい要因は、心から信仰の喜びを味わった経験があるかどうかだと思います。いくら素晴らしいお話を聞いて知っていても、それは他人の経験なので現実味が湧かないということもあります。百聞は一見に如かずというように、学修において自ら信仰の喜びを体感することは、本人の人生にとっても大きな一歩となります。

学生生徒修養部 委員

森井 葉子

本年の学修は、「教祖の御心を求めて」のテーマのもと、親神様のご守護はもとより、教祖の大きく温かく深い親心を身近に感じてもらうための内容が盛りだくさんです。その中で受講生たちは、初めは知らない人同士で不安を抱えながらも、最終日には別れを惜しみ抱き合う姿へと変わります。そこにあるのは、「信仰をしなければならぬ」という義務感ではなく、仲間と共に培った「この道を通りたい」という思いです。

おぢばで親心いっぱいにお連れ通りいただけるこの機会に、一人でも多くの学生に参加していただくことで、教会の内容が充実し、陽気ぐらしの輪が必ず広がることにつながると信じています。

教祖130年祭 学生おぢばがえり大会
 全教会からの参加を目指して

立教179年 3月28日 午前10時 大会動員目標

1万人

「教祖百二十年祭 学生おぢばがえり大会」への思い

大会実行委員長 浅野治香



昨年十二月より「教祖百二十年祭 学生おぢばがえり大会」の

実行委員長をつとめさせていただくこととなりました。これまで私たち学生会に多くのふしを見せられて、正直不安でいっぱいでした。そんな中、たくさん仲間、また親々の姿に背中を押され、大会実行委員長に立候補させていただきました。

時間がかかりましたが、今回の私たち学生会に見せていただいたふしには親心がある、ということをやっと全国のみんなで考えることができました。芯となる人の身上は、一同の心が揃っていない

からだ。だから、この旬に道の学生が一手一つになることを目指そうと、話し合い決めました。それは、十二月二十三日から二泊三日で、開催させていただいた教区学生リーダーの集いでのことです。直属からも多く参加していただき、合計百三十名を超える学生が集まりました。そこで、大会の全体アワーというものを行い、参加者全員で今の思い、大会についての思い、見せていただいているふしについての思いをぶつけ合いました。

今、私たちにできること。参加者一人一人にこだわって、その中でたくさん親心を感じて、その親心にお応えさせていただく。教祖にお喜びいただく、今できることから一生懸命つとめさせていた

だこう。その場にいたみんなが涙を流して、仲間の存在を感じ、一つになって活動していこうと誓いました。

私も、こんな仲間がいることが本当にありがたいと思います。今この旬に、一人に向けて活動できることが本当にありがたいと思います。

こうして活動できることは、先輩方、学担の先生方が、私たち学生のためにたくさん種をまいてくださったからだと思います。本当にありがとうございます。

大会参加者一人人に向けて、学生は一手一つに、今できるおたすけを胸に親心に応えたい。教祖にお喜びいただきたい。その一心でつとめさせていただきます。

一生懸命つとめさせていただきますので、今後も学生活動へのご協力ご支援をどうぞお願い致します。

思い出になった。来年もまた行きたい。

(大学生 女子)

●帰参された方の「ありがとう」、「がんばってね」という声がとてもうれしかった。全国の仲間とおぢばと一緒にひのきしんができて、とても楽しくて充実した四日間でした。(高校生 女子)

立教百七十九年 おせち学生ひのきしん隊 報告

新春の風物詩「お節会」に、今年も「おせち学生ひのきしん隊」を結成し、ひのきしんに励みました。

今年合計二百九十四名(高校生百二十三名・大学生百七十一名、男子百五十二名・女子百四十二名)が参加し、一月四日から七日までの四日間、本部第十二母屋、三十八母屋で合宿生活を送りました。

期間中は、第三、第五、第六会場において、主に給仕や誘導、洗い方のひのきしんをさせていただき、学生たちは「喜びあふれる笑顔と明るい声のさわやかなおもてなし」を合言葉に、一人でも多くの方に喜んでいただくよう一杯にひのきしんに励みました。その姿に感謝や励ましの言葉をかけてくださる方もおられ、

学生たちはひのきしんを通して大きな喜びをいただきました。また、期間中に四十名の学生が別席を運びました。近年は学校の授業カリキュラムの影響で、参加できる学生が減少している現状があります。この「おせち学生ひのきしん隊」が、信仰の喜びを味わえる場、おぢばへの伏せ込みの場として、より多くの学生に参加していただける行事となるよう、今後も内容の充実に努めていきたいと思えます。

参加者の声 (感想文より抜粋)

●最初は不安だらけでどうなるかと心配していたが、班の人とも仲良くなれて、楽しくひのきしんをすることができた。たくさんの人と笑い、一瞬一瞬がすごく



立教百七十八年 冬期直属学生リーダー講習会 報告

昨年十二月十九日から二十日にかけて「立教百七十八年 冬期直属学生リーダー講習会」（於・本部第十二母屋）が開催され、四十八直属教会、一教区から九十八名（スタッフを含む）が参加しました。

初めに、学生担当委員会茶谷委員より挨拶があり、その後班ごとに分かれ、「教会について」というテーマでねりあいが行われました。まず、自分の直属や所属する教会とのつながりや、そのつながりによる心の変化や影響について意見が交わされました。ねりあいを通して改めて教会について考え、教会の意義や目的を確認し合いました。続いて、「直属学生活動について」というテーマで、直属学生活動の必要性を話し合い、存在意義を考えました。また、学生として青年会、婦人会、女子青年とのつながり方についても考えました。

二日目は、学生担当委員会秋岡副委員長より「教祖百三十年祭について」というテ

ーマで講話があり、教祖年祭の意義を再確認するとともに、年祭までの残り一ヶ月余りの歩み方、そして年祭後から大会までのつとめ方の大切さを学びました。また、浅野治香大会実行委員長より「教祖百三十年祭 学生おぢばがり大会」へ向けての意気込みが語られ、大会動員一万人達成に向けて一手一つに活動していくことを誓いました。

さらには、直属アワの歴史、各直属の直属アワー紹介なども行われ、大会当日の直属アワーがより有意義なものとなるように促しました。

その他、今後の学生活動に生かすことを目的としたゲーム講習会も行い、プログラムの最後には講習会全体を振り返り、今後自分自身と自分たちの学生会がどのように活動していくのか、それぞれに目標を立てて実践していくことを誓い合い、一泊二日の講習会を終えました。

※内容は一部変更になる場合があります。

Happist 3月号 予告

【特集】 **自分力** インタビュー
 追手門学院大学客員教授 児玉 光雄

【連載】
 ・教理コーナー
希望の灯～おやさまのひながたに学ぶ～ 平野 知三 (本部准員)

・信仰エッセー
明日の地図ひろげて 中森 くによ (名張分教会長夫人)

・人生を彩る1冊をあなたに。
虹色のしおり 上田 和子 (浪華分教会教人)

・東馬場先生と学ぼう！
Happistニュース 東馬場 郁生 (天理大学国際学部教授)

センターカラー
 年間行事紹介
TSA PERFECT GUIDE



個人宅に直接「Happist」が届く個人購読も行っております。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。

立教百七十八年 冬期教区学生リーダーの集い 報告

昨年十二月二十三日から二十五日にかけて「立教百七十八年 冬期教区学生リーダーの集い」（於・本部第十二母屋）が開催され、二十八教区、十三直属教会から百三十三名（スタッフを含む）の学生が参加しました。

初日は夕方に集合し、学生担当委員会松村副委員長からの挨拶の後、夕づとめに参拝しました。夜には、班に分かれて、会則第三条をもとに学生会のあり方について話し合い、続いて、新しく就任した浅野治香大会実行委員長から話があり、前大会実行委員長の思いを引き継いで一手一つに三月の大会を目指すことを確認し合いました。

二日目は、まず午前中に年祭までの残り一ヶ月の通り方や教会につながついていくことの大切さについて学びました。午後からは、学生担当委員会吉川委員長より、教祖

百三十年祭や大会に向けての学生としての歩み方についての講話があり、引き続き班ごとでねりあいを行いました。また、この日の夜には「をびやづとめ」がつとめられたので、全員で参拝に行かせていただきました。

三日目、午前中は大会について全体で話し合う時間を設け、全国でがんばっている仲間の存在を肌で感じ、大会への思いを高め合うことができました。午後からは、午前中の話し合いを受けてブロックに分かれて振り返り、続いて、班ごとで行事全体の振り返りを行いました。

最後に、学生担当委員会秋岡副委員長からの挨拶があり、教祖百三十年祭、「教祖百三十年祭 学生おぢばがり大会」動員一万人を目指して、より一層の活動の充実との一手一つの実動を誓い合いました。



Happist Photo Gallery

行事中に「Happistカメラマン」が撮影した写真を販売しています！

内容： おせち学生ひのきしん隊
 頒布期間： 平成28年1月25日～4月24日
 購入方法： パソコンやスマートフォンで下記のURLにアクセスし、イベントIDとパスワード(各行事で異なります)を入力して閲覧・購入してください。イベントIDとパスワードの内容については、参加者への配付資料「Happist Photo Gallery」をご覧ください。学生担当委員会事務局(☎0743-63-2489)までお問い合わせください。なお、インターネットでの購入が困難な方は、学生担当委員会事務局の窓口にて対応いたします。

頒布価格： L版40円 2L版100円 ※別途送料が必要です。
 U R L : <http://11kao.jp/>

立教179年 学生生徒修養会 大学の部

募集要項

- ▽ 期 間 … 平成28年3月3日(木)～3月9日(水)
- ▽ 受講資格 … ①平成28年1月8日現在、大学・短期大学・大学院・専門学校
高等専門学校(4年生以上)に在学している者。
②全期間を通して受講できる者。
- ▽ 募集人員 … 700名(男子350名、女子350名)
- ▽ 内 容 … 講義、グループワーク、にをいがけ、ひのきしん、修練(おつとめ勉強)など。
期間中に別席を1席運べる日を設けます。
- ▽ 集 合 … 3月3日正午から12時30分までに指定された宿舎に集合してください。
- ▽ 解 散 … 3月9日 午前10時頃、各宿舎にて
- ▽ 受講御供 … 8,000円 詰所(直属学生担当委員会)に納めてください。

申し込み方法

- ▽ 申込方法 … 下記の書類を整え、最上級教会長の署名・捺印をいただいた後、学生担当委員会事務局に申し込んでください。
 - ・受講願書1通 ※特に学年の記入間違いのないようお願いいたします。
 - ・返信用封筒1枚(住所、氏名、郵便番号を記入し、82円切手を貼付してください)
- ▽ 受付期間 … 平成28年1月8日～2月25日
(事務処理の関係上、願書はなるべく2月15日までに提出してください)
- ※受講にあたっての詳細及び必要事項は、書面にて2月15日以降、随時本人に郵送いたします。また、2月15日以降はTSA websiteでも確認できますのでご利用ください。
- ※受講願書は学生担当委員会、各教務支庁にあります。

問い合わせ先

天理市守目堂町213-4 おやさとかた真南棟3階 学生担当委員会事務局
 《郵便》〒632-8790 天理郵便局私書箱1号
 《電話》0743-63-2489(学生担当委員会事務局直通) / FAX 0743-62-5780

主催・・・天理教教会本部 事務局・・・天理教学生担当委員会

「まなびば」開催会場一覧 《2月開催分》

教区	開催日時	場所	担当者	電話番号
北海道	2月6日14時～7日14時	教務支庁	大友 善一	
奈良	2月6日13時30分～7日15時	敷島詰所	梅本 俊一	
徳島	2月6日14時～7日14時	名東大教会	堀田 弘之	
群馬	2月13日13時～14日15時30分	教務支庁	狩野 慎一郎	
京都	2月13日13時～14日15時	宇治市 総合野外活動センター 「アクトバル宇治」	中島 啓和	
愛媛	2月13日13時～14日15時	教務支庁	酒井 美加	

☆実施計画書は2ヵ月前までにご提出ください。

青空

昨年の学生担当者大会の席上、表統領先生がお話
 くださった中に、これまで中野大教会でも取り組
 んできた活動がありました。

一つは、「入信の動機」を自身に問うというこ
 と。代を重ねた信仰者でも、それぞれ自分がこの教
 えを信じていこうと決めた日があり、理由がある
 という。信仰の動機は、決して高尚でなくとも、
 自身にとっては大切なものであり、決して離しては
 ならないものなので、これを学生たちに問いかけ、
 それがあるからこそ、この行事や活動に参加してい
 る自分があるのだと自覚させる。これにより、信仰
 の話が心に入りやすくなるようになりました。

もう一つは、「学生層布教」。学生と接する時は、
 常に布教を意識し、行事立案時から行事後のフォロー
 までを布教の心で行うこと。それが学担の使命だ
 と思つて動く。そのことだけで、学担行事の方向性
 がどれほどまとまり、充実するかを実感しました。

今年は大大会が持たれます。決して学生の行事だか
 らと遠巻きに見ているだけでなく、学担行事を通し
 て学生一人ひとりに布教し、十年先の基礎づくり、
 人づくりを目指していただきたいと願う次第であり
 ます。

中野大教会学生担当委員会 前委員長 菅野一郎